

大田フライト新聞



八号 発行日 七月十九日

発行者

一組 担任 日下部 智也

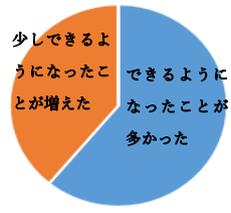
二組 担任 渡邊 涼太

三組 担任 樽沼 諒

四年生では、国語科で「新聞をつくろう」という学習をしました。この新聞の「わり付け」の意味など、学習したことを生かして読んでみてください。

認め合いの第0・1ステージを終えて

「これまでの自分より、できるように became ことが多くなった。」と思うアンケートをしました。この結果から、みなさんが前期前半をじゅうじつとした時間になったことが分かりました。その理由を聞いてみると、「一人じゃできなかったけれど、学級委員がいつも声をかけてくれたから、できるように became。」というように、そうにと教えてくれた人がいました。



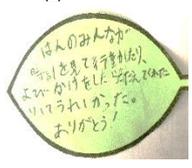
学級委員に前期前半の振り返りを聞くと「一人じゃできなかったけれど、班長やクラスの仲間が助けてくれたからできました。」と教えてくれました。先生たちは、みなさんが互いに支え合いながら集団で生活すると、自分の成長につながることを実感したことがうれしかったです。みなさんがそう実感できたのは、特に三つのことをがんばったからだだと思います。

一 だれもがしやすいかんきょうづくり

学級委員を中心となった心の木活動、トイレのスリッパをそろえることでだれもがしやすいかんきょうづくりをしました。

二 仲間の良さを認める 認め合い活動

班長が中心となって、班の仲間の良さを見つけ認め合いの気持ち大切にしてみました。少しずつ学年廊下にある認め合いの木に認め合いの葉が生い茂ってきました。



仲間の良いを書いた認め合いの葉

スリッパがおいしげる心の木

三 仲間の好きを認める「推し活」

自主的に自分が好きなものをしていしたり、広めたりする活動「推し活」をしました。自分の好きなものを相手も「いいね!」と言ってもらえるとうれしくなりましたね。

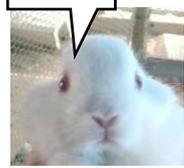
この三つのがんばったことは、前期後半も大切にしていきましょう。

【保護者の皆様】保護者の皆様におかれましては、日頃より、ご支援・ご協力いただきありがとうございます。ありがとうございました。

推し活 掲示板

7月までの振り返り

夏休みは先生たちにお世話してもらうよ! 夏休み明けにまつているよ!



うさぎーズ: 飼育当番ありがとう!

とかげ保護隊: みんながトカゲのことを知って、くれてうれしかった。

タガメーズ: タガメを紹介できてよかった。

図書クラブ: よみよみカード2お楽しみに! チムスタディ: たくさん勉強会してくれてうれしかったです!

「生きた生き物」を育てることの大変さを知りました!

自主学習のススメ

「計算」を進めてきました。自主的に家で取り組み続けることで、少しづつタイムを縮めた仲間がいたのでインタビューしました。「初めは宿題もできなくて苦しかったけれど、できるように became 楽しくなってきた。」と教えてくれました。夏休みは自分の苦手なことを克服するチャンスです。ぜひ、夏休みに、たくさん自主学習に取り組んでみてください。そこで、オススメの自主学習の方法をしようかいます。

【国語】漢字の学習では、漢字を何回も練習するだけでなく、写真の自主学習のように、じゅく語で覚えることが大切です。またそのじゅく語の意味も調べておくとうれしいです。

【理科】生き物について調べてまとめたり、持ち帰った3.4年生の理科50問ドリブルプリントに取り組んだりすると良いです。

【算数】ひたすら計算問題を解くだけではなく、問題を解くためのポイントをまとめることで理解が深まります。

【社会】学習したことを、もう一度まとめたり、疑問に思ったことを調べたりすると、理解が深まっています。

